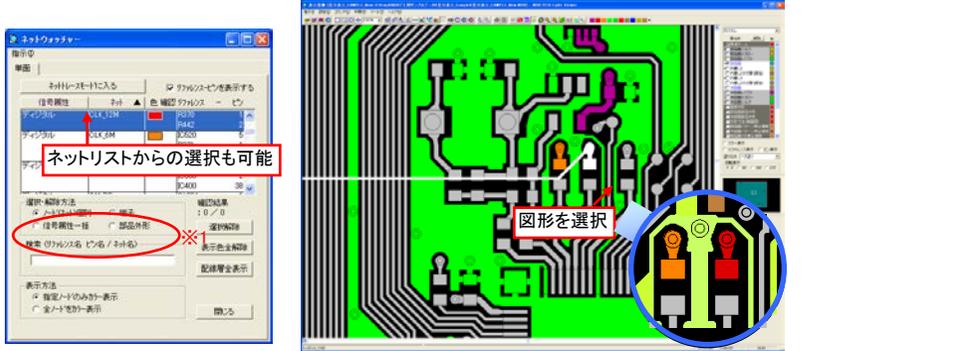


ネットウォッチャー

指定ネットへの表示色設定

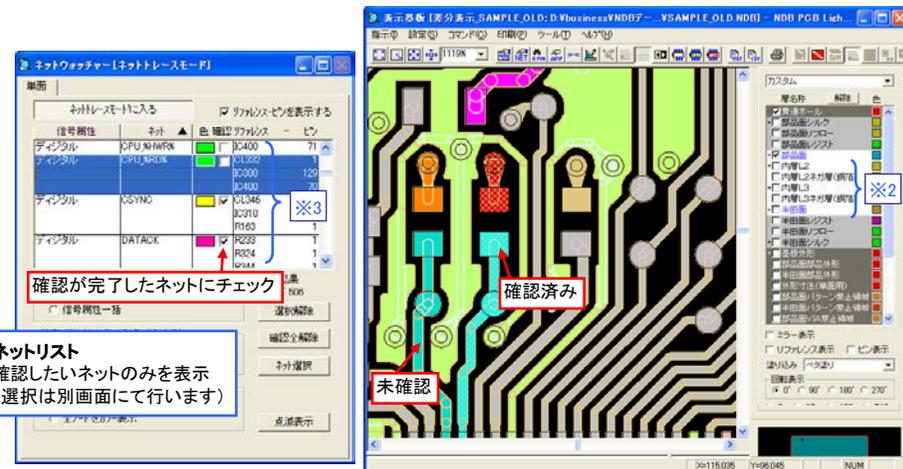
画面上の図形選択でも、ネット毎に表示色が設定できます



- ・ノード(ネット)単位/信号属性単位(グラウンド・電源・クロックなど)/端子/部品外形での選択が可能です(※1)
- ・[Ctrl]キーとの併用で、指定ネット(もしくは端子)が自動ズームされます
- ・ネットウォッチャー専用パレットの使用で、通常のViewerとは別に色の設定が可能です

指定ネットのトレース機能

画面上での図形選択で、図形を順に追って指定ネットの確認ができます
確認したいネット(未確認)と確認済みネット、それ以外のネットを区別して表示できます

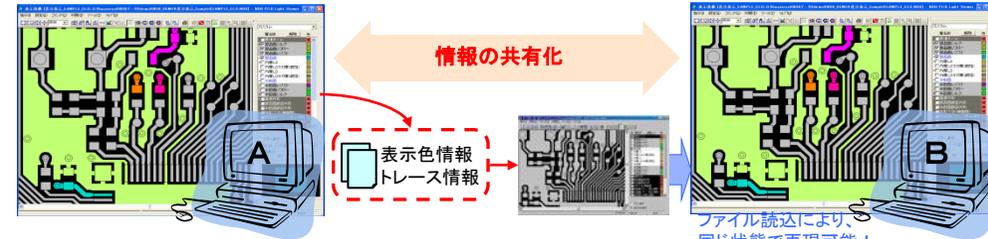


ネットリスト
確認したいネットのみを表示
(選択は別画面にて行います)

- ・指定ネットの配線層の文字が“**青**”となるので、1層毎また層を追っての確認が可能です(※2)
- ・図形選択で「選択色(上図:“**茶**”)」から「確認色(上図:“**ピンク**”)」に更新されます
- ・ネットリスト内の「確認欄」にチェックを付けることで、確認済みネット/未確認ネットの区別が可能です(※3)

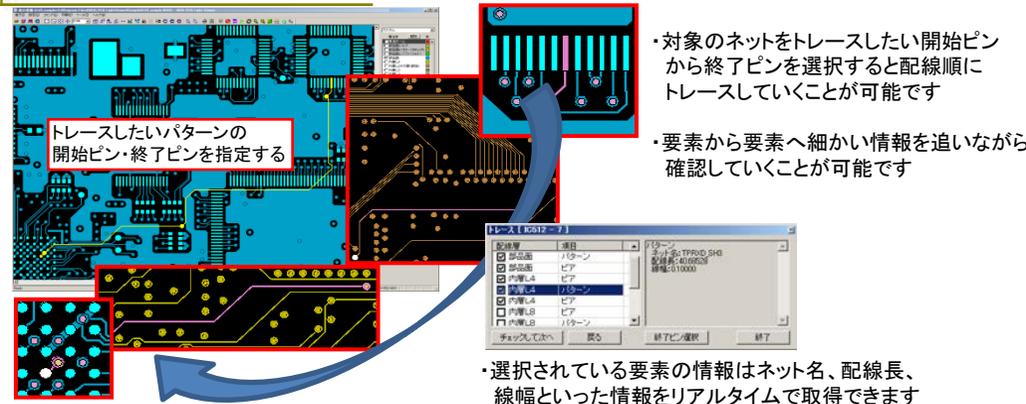
設定情報の入出力

指定ネットに付加した表示色情報が保存・復元できます
指定ネットの確認状況(トレース情報)が保存・復元できます



- ・クロック用・差動信号用・電源用など分けてファイル出力することができるので、信号属性や個別指示など状況に応じた表示色設定や確認を行うことが可能です
- ・確認作業を中断した場合でも、保存時の状態を復元できるので、中断したところから作業が再開できます

ネット要素の順送りトレース機能



その他の機能

- ・本オプションを購入されていないお客様でも表示色情報ファイルをオープンして配色することが可能です
※表示色情報ファイルを作成するためには本オプションの購入が必要となります
- ・画面上での図形選択時に、ステータスバーにネット名(もしくはリファレンスピン)が表示されます
- ・VIAおよび端子が特定色で縁取りされます
- ・ネットウォッチャー起動中も、標準機能のご利用は可能です(※一部機能を除く)
- ・ネットウォッチャーを終了しても色付けの状態をそのまま維持して検図することが可能です

お問い合わせ先

株式会社 Sohwa & Sophia Technologies
開発部 E-mail: sts-info@ss-technologies.co.jp
〒215-8588 神奈川県川崎市麻生区南黒川6-2 TEL: 044-981-5283

ネットウォッチャーの活用メリット



高価な解析ツールがなくても、簡易的なチェックで効果あり



⇒ 高価な解析ツールを導入して時間をかけて厳密な検査をするよりも、
(簡単な操作) + (短時間) + (目視チェック) で、それなりの効果を得ることができる

Example

活用事例： 特定部品のネットに対する色指定

センシティブライン(例:マイコンに直接つながる信号)と
ノージーライン(ノイズ源になり易い信号)との近接状態や
クロストーク状態の確認

活用事例： 電源ネットの電圧レベル毎の色分け表示

電圧レベル毎に色設定して、
電源、GNDの分布状況確認や絶縁距離の確認

